

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

東京都における熱中症傷病者の病院前救護での特徴と重症度について

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 救命救急センター（研究責任者）山口 順子

＜研究期間＞

承認日 ～ 西暦 2018年 12月 31日

＜研究の目的と意義＞

地球温暖化の影響により熱中症の患者さんは増加しています。重症熱中症の患者さんの転帰は不良であり、その早期発見と適切な医療機関への搬送と治療が重要です。同居者や市民及び病院前救護医療者が測定可能で簡便に評価可能バイタルサインで熱中症の重症度を予測することができれば、熱中症の発生を早期に認識し、適切な医療機関への搬送と治療が可能となり、転帰を改善できる可能性があります。また東京の熱中症患者の特徴を明らかにすることで発症予防の啓発につながります。

＜利用する試料・情報の項目＞

2016年1月から12月までに東京消防庁管下で救急搬送され、初診時に熱中症と診断された傷病者の東京消防庁救急情報分析システムの電子データベースに記録され傷病者3026名の方の性別、年齢、病院前救護でのバイタルサイン、重症度及び発生場所などの情報となります。

＜対象となる患者さん＞

2016年1月から12月までに東京消防庁管下で救急搬送され、初診時に熱中症と診断された傷病者の東京消防庁救急情報分析システムの電子データベースに記録され傷病者3026名の方です。（傷病者の方の個人情報は匿名化されています。）

＜研究の方法＞

性別、年齢、病院前救護でのバイタルサイン、発生場所などの情報を用いて、東京都の熱中症の特徴を検討します。また、どのような要因が熱中症の重症度と関係があるのかを検討します。学会から情報提供の通達があり、これに基づき東京消防庁より提供されたデータは、匿名化された電子データで個人を特定する情報は含まれていません。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町30-1）

救命救急センター科 氏名：山口 順子

電話：03-3972-8111 内線：(医局)2800 (PHS)8363